

阿蘇草原再生募金キャンペーン・ニュース

aso sougen saisei bokin news

2012年10月31日

◆草原再生募金キャンペーン

10月28日(日)に高森町の月廻り公園で行われました。

今回は、「あそ千年祭」の期間中という事もあって、総勢28名ものたくさんの皆さんが募金活動の呼びかけに集まってくれました。中でも今回強力な



助っ人として、阿蘇中央高校グリーン環境科の生徒さん6名と引

率の先生も活動に参加してくれました。

生徒たちは、この日の為に大きな竹筒に、「阿蘇草原再生ロゴマーク」(左下写真参照)をかたどった募金箱を作ってきてくれました。とてもよく出来ていて感動ものでした。

募金キャンペーン参加者たちは、それぞれ3名から5名



高校生たちがこの日のために手作りで作ってきた、草原再生ロゴ入りの募金箱(感激です!!!)

の班に別れ積極的に人が集まるところに出向いて声をかけていました。今回、水墨画家下村朱杏(しゅきょう)先生【内閣総理大臣賞受賞=阿蘇市出身=】のご厚意により頂いた「阿蘇の野草の絵はがき5枚組み」を募金者にプレゼントしたりもして、喜ばれていました。

こうした皆さまの活動の結果、合計**55,864**円の募金が寄せられました。大変お

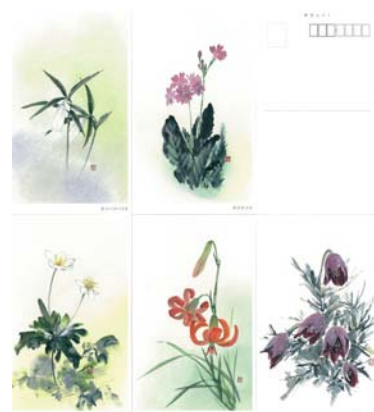
疲れさまでした。

引き続きご協力お願いします!

阿蘇の草原を守って行くためには、もっと!さらにもっと!!多くの方のご理解・ご協力が必要です。そのために募金活動等でPRして、多くの方に知ってもらい、**大好きな阿蘇の草原**を皆さまの“**熱い篤い**”想いで守って行きましょう!



当日参加したメンバー(一部)の集合写真



阿蘇の野草の絵はがき
希望者には絵はがき千円でお譲りします。(全額募金扱いとします。)



2012年10月29日

★あそ千年祭開会【10月27日】

「7.12 豪雨」の復興と阿蘇の草原継承を願う「あそ千年祭」が10月27日(土)～28日(日)の2日間、高森町の月廻り公園と南阿蘇の2会場で開催されました。

残念ながらお天気が2日間ともに、あまりパツとせず、時折り雨の降る中での開催となりました。主会場には、阿蘇グリーンストック(以下GS)の野焼き支援ボランティアさん達も制作に携わったススキを使った「草アート」や巨大ブランコ(下の写真参照)などが並び、家族連れが見入っていました。開会式では小野泰輔熊本県副知事の開会あいさつを皮切りに、地元の小学生が「阿蘇がもっと元気になるよう、みんなで力を合わせます!」と宣言し、ステージには人気の「くまモン」などのゆるキャラたちも登場し会場をにぎわせました。



開会あいさつする小野副知事(中央)と熊本のゆるキャラたち



会場に設置された、草アート(左から、田楽・くまモン・草泊り・らくだ・あそBOY)や巨大ブランコ

GSボランティアに火の消し方を教わる子どもたち



GSのブースでは、GSと阿蘇自然環境事務所の活動内容の紹介などを展示。ブース前では、翌日に行われるイベントに向けて来場の方々に呼びかけ(子どもばかりか大人も楽しんでいました)、事前の予行練習から盛り上がり、GSブース前を盛り上げました。

★GSイベント「大阿蘇火消し競争」開催!【10月28日】



白熱した大阿蘇火消し競争の様

あそ千年祭2日目は、草原維持に欠かせない「野焼き」の大切さをテーマにした企画で盛り上がりました。ペットボトルを炎に見立て、ジェットシューターで倒す競争で、その名もズバリ!「大阿蘇火消し競争」です。参加チームは合計14チーム。1チーム3名で、年令・性別問わず総勢なんと42名(右参照)で争いました。入場式のデモンストレーション

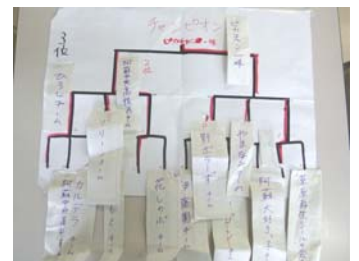


にぎやかな入場式の様子

ョンでは、GS事務局長K氏の大転倒で会場は大爆笑。にぎやかなスタートとなりました。

子ども相手にも手を抜かない!? 白熱した戦いが繰広げられ優勝したのはなんと! 小さな兄弟とお父さんの「ピカチャン一味」でした。(実は、競技前の練習時間に一番熱心に練習していたのがこの家族でした。)参加者はもちろん観戦者とともに、あそ千年祭会場全体に大きな声援と明るい笑顔が続いていました。

『ご協力ありがとうございました。』



トーナメント表

大阿蘇火消し競争参加チーム一覧【全14チーム(1チーム3名総勢42名)順不同】

- ・阿蘇中央高校A・阿蘇中央高校B・阿蘇大好きっ子・ひろし・伊藤園・花しのぶ・草原再生シールの会・ピカチャン一味・野ポラージュ・カルデラ・グリーン・ふじもと・ドラゴン・やまなみ



優勝した仲よし家族の「ピカチャン一味」